

# 第31回全事研セミナーアンケート調査結果

## 1. 対象・方法・期間・回答数

対象 : 全会員  
方法 : Microsoft Forms  
期間 : 令和7年2月14日(金)～令和7年5月30日(金)  
回答数 : 1,691件

## 2. 目的

セミナーへの参加・不参加に関わらず、広く会員の実態と意識について問うことで、今後のセミナーの運営をはじめ、研究開発、全事研Web、広報・調査活動の改善に向けた参考資料とする。

## 3. 調査結果の要約

- 1,691件中、「現地参加」148件、「録画配信で視聴」47件、「参加も視聴もしていない」が1,496件であり、参加したのは回答者の11.6%であった。
- 回答者の93.7%(1,584件)が共同学校事務室等に所属していた。
- セミナー参加のきっかけとなった関心の高い内容(最大2つ選択可)では、「講義Ⅰ」への関心が最も高く(132件)、次いで講義Ⅱ(85件)、講義Ⅲ(64件)であった。
- 各講義の理解度は、4段階評価で平均2.86～3.18、全講義では3.06であった。特に講義Ⅱ・Ⅲでは共同学校事務室等のリーダーの方がそれ以外の者より高い理解度を示した。
- セミナー全体の満足度は、4段階評価の平均で3.27であった。最も多かった回答は「満足し、十分な学びや成果を得た」で、全体の55.9%(109件)を占め、次いで「非常に満足し、多くの学びや成果を得た」が35.9%(70件)となった。
- 「学校が子どもの学びを保障するうえで、事務職員の積極的な関わりに成果を期待できるか」という設問では、すべての職務で「そう思っていて、かかわっている」と「そう思っているが、かかわっていない」を合わせた肯定的な回答が半数を超えた。
- すでに取り組んでいる、または今後取り組みたいと考えている関心事に関する設問では、「働き方改革」(1,064件)で最も多く、次いで「保護者負担の軽減」(966件)、「共同学校事務室」(900件)の順に高い回答数を示した。
- 全事研公式LINEの登録率を経験年数別にみると、16～30年目、および31年目以上の層では20%を超えているが、1～15年目までの層では回答率が10%台にとどまった。



全国公立小中学校事務職員研究会

<https://zenjiken.jp/>

<設問>

**1 基本情報**

1-1 都道府県名

選択式

1-2 勤務先の状況（所在地）

政令指定都市 中核市 その他の市区町村

1-3 年齢（R 6. 4. 1 現在）

～24歳 25～34歳 35～44歳 45～54歳 55歳以上

1-4 学校事務職員経験年数（R 6. 4. 1 現在）

1～5年 6～10年 11～15年 16～20年 21～25年 26～30年 31年以上

1-5 現在、共同学校事務室等（共同実施及びそれに類する組織）に所属していますか。

所属している 所属しており、リーダー的な役割である 所属していない

**2 参加の有無・参加方法について**

2-1 参加について

現地参加 録画配信で視聴 参加していない

2-2-1 現地参加した主な理由を教えてください。

他地区の事務職員との交流 支部・市区町村からの派遣 現地の臨場感を味わいたい

旅費が確保されている オンライン環境が整っていない

2-2-2 録画配信視聴を選択した主な理由を教えてください。

移動時間や費用の節約 現地に向く時間が取れなかった 場所を問わず参加が可能

感染症対策や体調面を考慮 過去のオンライン参加が満足できるものだったため

2-2-3 「参加していない」とした理由を教えてください（最大3つまで選択可）。

日程が合わない（既に他の仕事や予定が入っている）時間がない（日常の業務や家庭の都合で多忙）

関心のある内容がない 所属長の許可が得られない

参加費が高い オンライン環境が整っていない

旅費不足 セミナーの開催を知らなかった

その他

2-4 先の設問で「その他」を回答された方はその内容を御記入ください。

2-5 セミナー開催を知ったきっかけを教えてください。

研究会組織からの伝達 全事研Web 全事研会報 全事研公式LINE 月刊 学校事務

共同学校事務室組織などから研修として勧められた 知人からの紹介

**3 各講義（Ⅰ～Ⅲ）の理解度について**

各講義の理解度について、以下の4段階から最も適切なものを選択してください。

十分に理解できた よく理解できた 一部理解できた 理解できなかった

**4 全事研セミナー全体について**

※セミナーで得た知識やスキルが、御自身の成長やこれからの業務に役立つかを評価するものです。

4-1 セミナーを通じて得られた学びや成果について、以下の4段階から満足度を選択してください。

非常に満足し、多くの学びや成果を得た 満足し、十分な学びや成果を得た

一部満足したが、期待には届かなかった 不満であり、学びや成果を得られなかった

4-2 セミナーに参加したことで、身についたと考えるものを教えてください。

コミュニケーション力 学習継続力 課題発見解決力 専門性構築力 政策形成力

情報活用力 人材開発育成力 仲介調整力

4-3 御意見・御感想を自由に御記入ください。

**5 事務職員に期待される職務について**

第58回佐賀大会（年次別課題：学びの機会の保障）の研究の基礎資料とするため、次の設問にお答えください。

5-1 学校が子どもの学びの機会を保障するにあたり、次の職務は事務職員が積極的ににかかわることによって成果を期待できるものだと思いますか。

また、実際にこの職務にかかわっていますか（主担当や副担当等、校務分掌の位置づけの有無は問いません）。

あなたの「意識」と「実態」の組み合わせとして、当てはまるものを選択してください。「意識」について「そう思う」と回答した場合はその根拠と考えるものを（a）～（j）の中から1つ選択してください。

- 1) 困難を抱える児童生徒に関する情報の把握
- 2) 学習環境における合理的配慮の推進
- 3) 外国籍児童生徒を対象とした学習環境整備
- 4) 特異な才能をもつ児童生徒を対象とした学習環境整備
- 5) 個別の支援が必要な家庭への支援
- 6) 困難を抱える児童生徒に係る調査の実施・回答・集計や取組効果の検証
- 7) 学校内外の専門機関等※との連携  
※養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育委員会、教育支援センター、フリースクール等
- 8) 校内教育支援センター※の設置・環境整備  
※スペシャルサポートルーム等、教室に入れないうちや、気持ちを落ち着かせたいときに利用できる空き教室等を活用した部屋
- 9) 遠隔授業等、教室以外での学習をするための環境整備
- 10) 学校風土の「見える化」※の推進  
※学校評価の仕組みを活用して、児童生徒の授業への満足感、教職員への信頼感、学校生活への安心感等、学校の風土や雰囲気把握すること

【選択肢1】  そう思っていて、かかわっている  そう思っているが、かかわっていない  
 そう思わないが、かかわっている  そう思わないし、かかわっていない

- 【選択肢2】
- (a) 教育委員会、保護者・地域などと渉外・交渉・連携する力
  - (b) 学校全体を見渡し問題を発見・解決する思考力
  - (c) 情報分析・情報マネジメント等の能力
  - (d) 財務に関する能力
  - (e) 施設管理に関する能力
  - (f) 臨機応変な対応力
  - (g) ICTに関する知識
  - (h) 教育課程に関する知識
  - (i) 法規・制度に関する知識
  - (j) その他（記述）

5-2 あなたの学校が所属する市区町村教育委員会では、学校管理規則や規程、要綱等により、事務職員の標準的な職務が定められていますか。

はい  いいえ

5-3 あなたは、児童生徒の学籍に係る事務※にかかわっていますか（校務分掌の位置付けは問わない）。※転出入、児童生徒名簿管理、要録点検等

はい  いいえ

5-4 あなたが、市区町村教育委員会の職員と、所属校や共同学校事務室、勤務する自治体の事務改善や課題解決について対話をする頻度として、当てはまるものを1つ選択してください。対話の形については、対面でも電話でも構いません。

週に1回以上  月に2回以上  月に1回以上  月に1回未満

## 6 全事研活動について

今後の本部活動の参考資料とするための設問です。

6-1 現在、すでに取り組んでいる、または今後取り組みたい（かかわっていきたい）と考えている関心事について選択してください（最大3つまで選択可）。

- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> GIGAスクール構想              | <input type="checkbox"/> 働き方改革       |
| <input type="checkbox"/> 合理的配慮                   | <input type="checkbox"/> いじめ・不登校対策   |
| <input type="checkbox"/> 保護者負担の軽減（教材費等の学校徴収金の軽減） | <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール |
| <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメント           | <input type="checkbox"/> 学校評価        |
| <input type="checkbox"/> 防災・減災                   | <input type="checkbox"/> 共同学校事務室     |

6-2 全事研ではLINE (@zenjiken) を活用した情報発信を行っています。

LINEへの登録状況をお知らせください。

※研修会の案内等、さまざまな情報を適時配信しています。まだ登録をしていない方は、是非この機会にご登録ください。

登録している  登録していない

6-3 全事研のLINE (@zenjiken) やその他の情報発信で、どのような内容を提供してほしいですか  
(最大3つまで選択可)。

- 各種研修(全国大会・セミナー)の案内
- 全事研調査の結果概要
- 最新の教育業界のニュースや動向
- 各地域の取組や活動方法
- 日常業務に役立つヒントやコラム
- その他(期待する内容やアイデア)

6-4 上記設問で「その他」を回答された方はその内容を御記入ください。

# 第31回全事研セミナーアンケート調査結果

(調査期日：令和7年5月30日)

回答数：1,691件

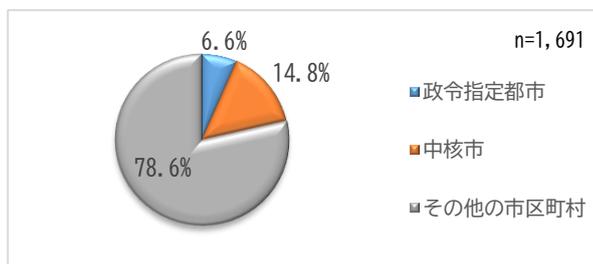
## 1 基本情報（回答者属性）

### 1-1 回答者の都道府県

都道府県	回答数	都道府県	回答数	都道府県	回答数	都道府県	回答数
北海道	0	東京都	2	滋賀県	2	香川県	20
青森県	5	神奈川県	4	京都府	37	愛媛県	103
岩手県	56	新潟県	9	大阪府	54	高知県	5
宮城県	2	富山県	36	兵庫県	2	福岡県	4
秋田県	4	石川県	0	奈良県	47	佐賀県	65
山形県	5	福井県	64	和歌山県	40	長崎県	2
福島県	4	山梨県	19	鳥取県	4	熊本県	37
茨城県	128	長野県	0	島根県	17	大分県	0
栃木県	0	岐阜県	211	岡山県	50	宮崎県	1
群馬県	54	静岡県	180	広島県	4	鹿児島県	0
埼玉県	111	愛知県	280	山口県	2	沖縄県	4
千葉県	9	三重県	2	徳島県	6	計	1,691

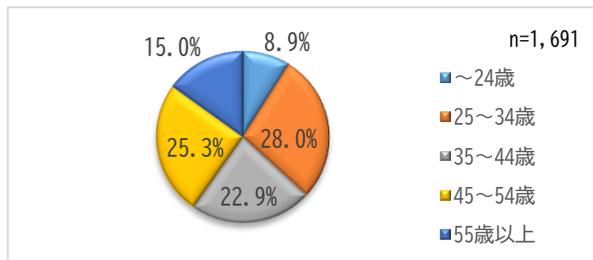
### 1-2 勤務先の状況（所在地）

区分	回答数	構成比
政令指定都市	112	6.6%
中核市	250	14.8%
その他の市区町村	1,329	78.6%
計	1,691	100%



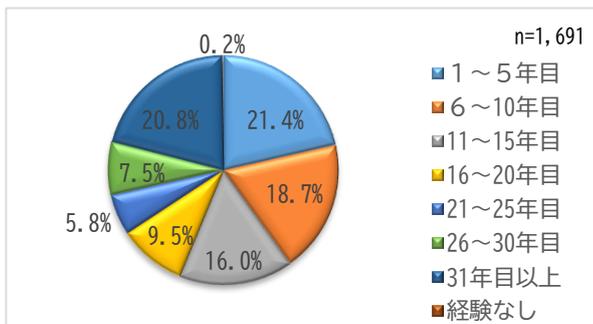
### 1-3 年齢（R6.4.1現在）

年齢	回答数	構成比
～24歳	150	8.9%
25～34歳	473	28.0%
35～44歳	387	22.9%
45～54歳	428	25.3%
55歳以上	253	15.0%
計	1,691	100%



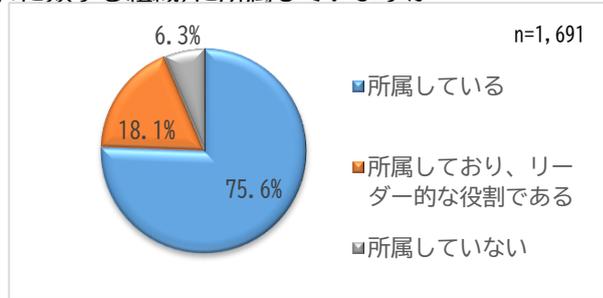
### 1-4 学校事務職員経験年数（R6.4.1現在）

経験年数	回答数	構成比
1～5年目	362	21.4%
6～10年目	317	18.7%
11～15年目	271	16.0%
16～20年目	161	9.5%
21～25年目	98	5.8%
26～30年目	127	7.5%
31年目以上	351	20.8%
経験なし	4	0.2%
計	1,691	100%



1-5 現在、共同学校事務室(共同実施及びそれに類する組織)に所属していますか

区分	回答数	構成比
所属している	1,278	75.6%
所属しており、リーダー的な役割である	306	18.1%
所属していない	107	6.3%
計	1,691	100%



問2 参加の有無・参加方法について

2-1 セミナー参加について

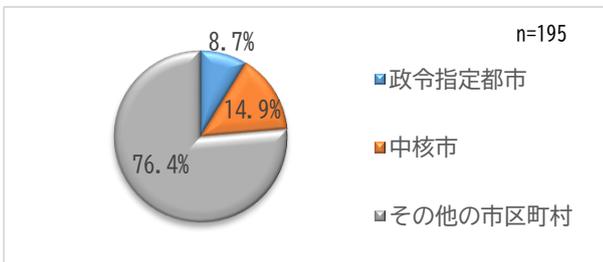
区分	回答数	構成比
現地参加	148	8.8%
録画配信で視聴	47	2.8%
参加も視聴もしていない	1,496	88.5%
計	1,691	100%



※ 以降、「現地で参加」「オンライン配信視聴」を合わせたものを参加者とする。

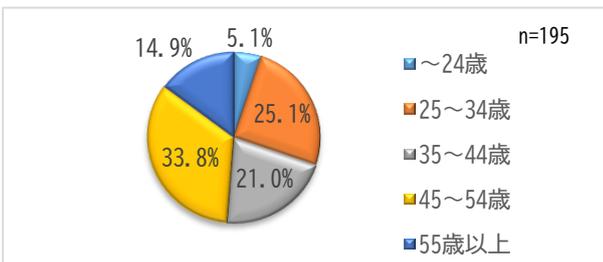
参加者内訳(勤務先の所在地)

区分	回答数	構成比
政令指定都市	17	8.7%
中核市	29	14.9%
その他の市区町村	149	76.4%
計	195	100%



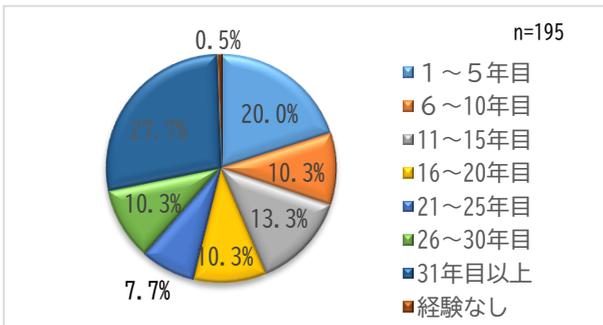
参加者内訳(年齢) (R6.4.1現在)

年齢	回答数	構成比
～24歳	10	5.1%
25～34歳	49	25.1%
35～44歳	41	21.0%
45～54歳	66	33.8%
55歳以上	29	14.9%
計	195	100%



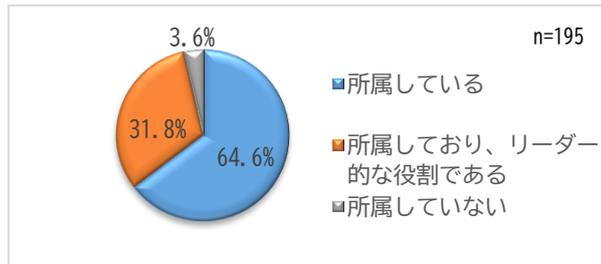
参加者内訳(経験年数) (R6.4.1現在)

経験年数	回答数	構成比
1～5年目	39	20.0%
6～10年目	20	10.3%
11～15年目	26	13.3%
16～20年目	20	10.3%
21～25年目	15	7.7%
26～30年目	20	10.3%
31年目以上	54	27.7%
経験なし	1	0.5%
計	195	100%



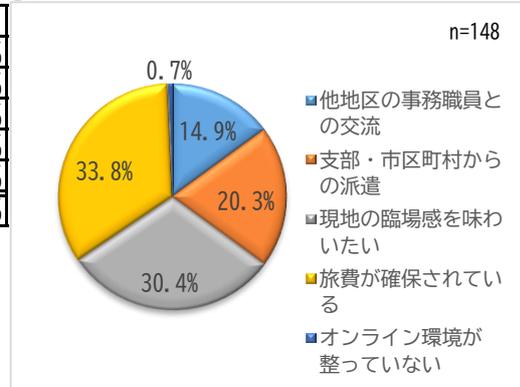
参加者内訳（共同学校事務室等への所属有無）

区分	回答数	構成比
所属している	126	64.6%
所属しており、リーダー的な役割である	62	31.8%
所属していない	7	3.6%
計	195	100%



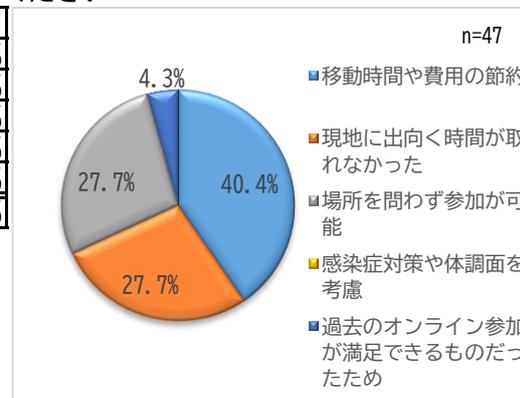
2-2-1 現地参加を選択した主な理由を教えてください

選択項目	回答数	構成比
他地区の事務職員との交流	22	14.9%
支部・市区町村からの派遣	30	20.3%
現地の臨場感を味わいたい	45	30.4%
旅費が確保されている	50	33.8%
オンライン環境が整っていない	1	0.7%
計	148	100%



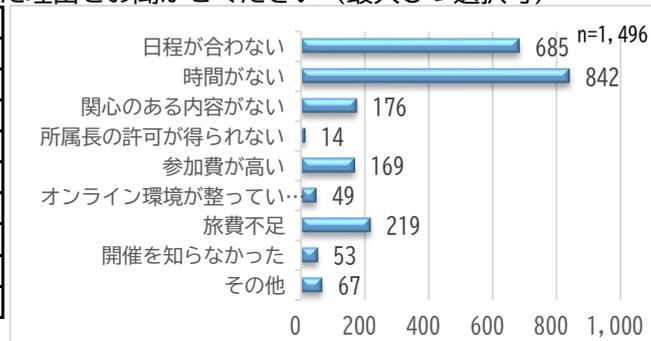
2-2-2 録画配信視聴を選択した主な理由を教えてください

選択項目	回答数	構成比
移動時間や費用の節約	19	40.4%
現地に出向く時間が取れなかった	13	27.7%
場所を問わず参加が可能	13	27.7%
感染症対策や体調面を考慮	0	0%
過去のオンライン参加が満足できるものだったため	2	4.3%
計	47	100%



2-2-3 全事研セミナーへ参加しなかった理由をお聞かせください（最大3つ選択可）

選択項目	回答数
日程が合わない	685
時間がない	842
関心のある内容がない	176
所属長の許可が得られない	14
参加費が高い	169
オンライン環境が整っていない	49
旅費不足	219
開催を知らなかった	53
その他	67

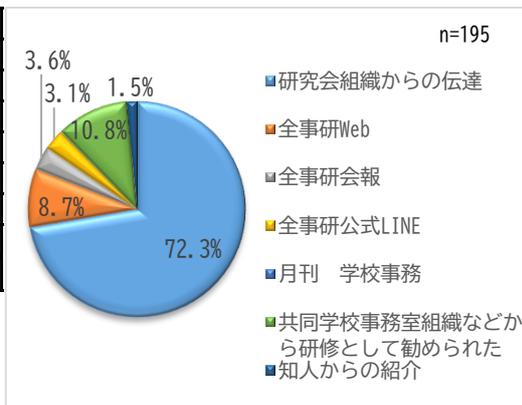


【その他】

- ・申込みにアプリのインストールが必要だったため。
- ・セミナーに参加するほどの前提知識がないと感じているため。

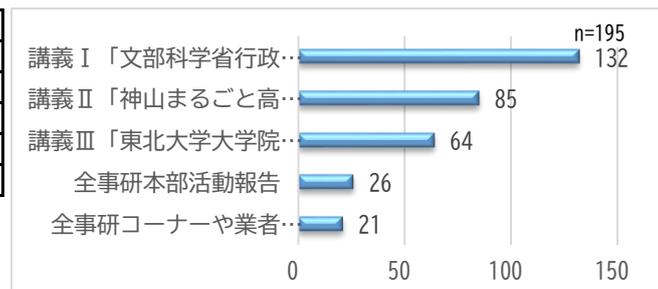
2-3 セミナー開催を知ったきっかけを教えてください

選択項目	回答数	構成比
研究会組織からの伝達	141	72.3%
全事研Web	17	8.7%
全事研会報	7	3.6%
全事研公式LINE	6	3.1%
月刊 学校事務	0	0%
共同学校事務室組織などから研修として勧められた	21	10.8%
知人からの紹介	3	1.5%
計	195	100%



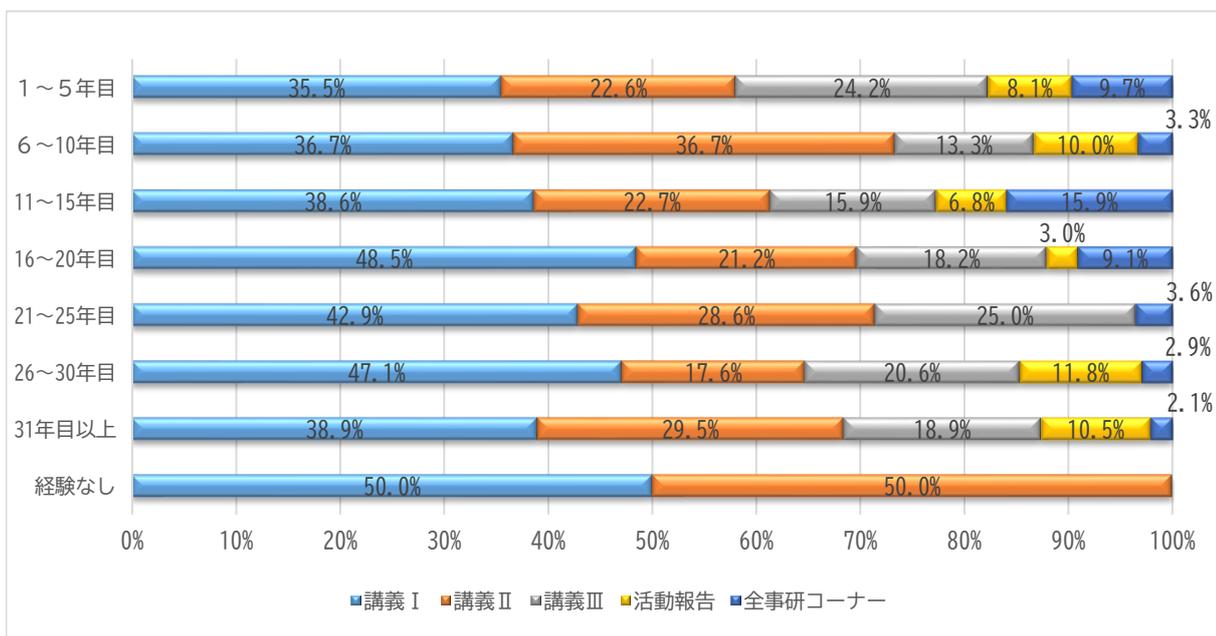
2-4 セミナー参加のきっかけとなった関心の高い内容(講義や展示など)を教えてください  
(最大2つ選択可)

選択項目	回答数
講義Ⅰ「文部科学省行政説明」	132
講義Ⅱ「神山まるごと高等専門学校 事務局長 松坂 孝紀 氏」	85
講義Ⅲ「東北大学大学院教育学研究科 教授 青木 栄一 氏」	64
全事研本部活動報告	26
全事研コーナーや業者ブース等の展示	21



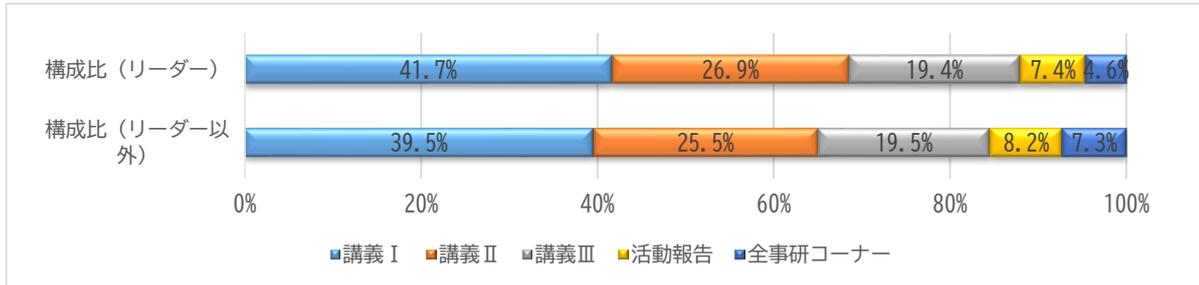
【1-4×2-4クロス集計 経験年数別にみた関心の高い内容】

選択項目	講義Ⅰ	構成比	講義Ⅱ	構成比	講義Ⅲ	構成比	活動報告	構成比	全事研コーナー	構成比
1～5年目	22	35.5%	14	22.6%	15	24.2%	5	8.1%	6	9.7%
6～10年目	11	36.7%	11	36.7%	4	13.3%	3	10.0%	1	3.3%
11～15年目	17	38.6%	10	22.7%	7	15.9%	3	6.8%	7	15.9%
16～20年目	16	48.5%	7	21.2%	6	18.2%	1	3.0%	3	9.1%
21～25年目	12	42.9%	8	28.6%	7	25.0%	0	0%	1	3.6%
26～30年目	16	47.1%	6	17.6%	7	20.6%	4	11.8%	1	2.9%
31年目以上	37	38.9%	28	29.5%	18	18.9%	10	10.5%	2	2.1%
経験なし	1	50.0%	1	50.0%	0	0%	0	0%	0	0%



【1-5×2-4クロス集計 立場の違いからみた関心の高い内容】

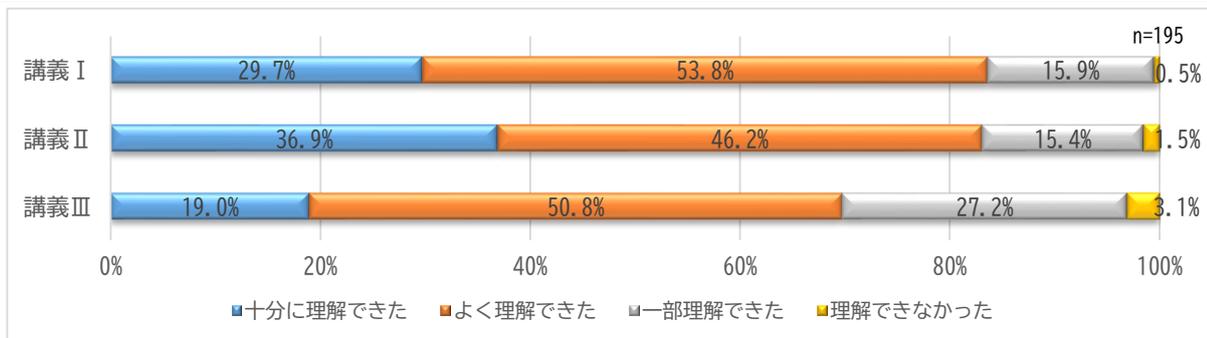
選択項目	リーダーである	構成比（リーダー）	リーダーでない	構成比（リーダー以外）
講義Ⅰ	45	41.7%	87	39.5%
講義Ⅱ	29	26.9%	56	25.5%
講義Ⅲ	21	19.4%	43	19.5%
活動報告	8	7.4%	18	8.2%
全事研コーナー	5	4.6%	16	7.3%



問3 各講義（Ⅰ～Ⅲ）の理解度について

3-1 各講義の理解度について、以下の4段階から最も適切なものを選択してください

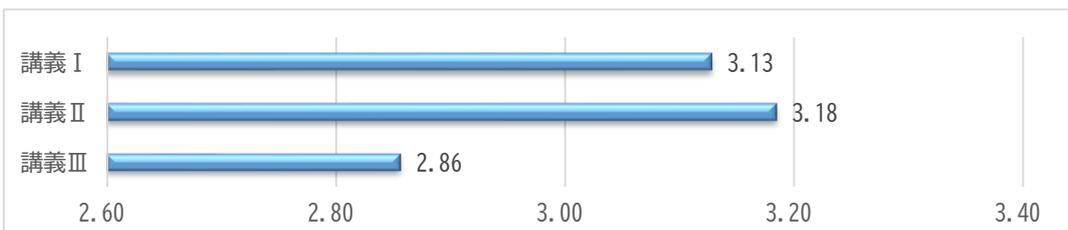
選択項目	十分に理解できた	構成比（十分に理解できた）	よく理解できた	構成比（よく理解できた）	一部理解できた	構成比（一部理解できた）	理解できなかった	構成比（理解できなかった）
講義Ⅰ	58	29.7%	105	53.8%	31	15.9%	1	0.5%
講義Ⅱ	72	36.9%	90	46.2%	30	15.4%	3	1.5%
講義Ⅲ	37	19.0%	99	50.8%	53	27.2%	6	3.1%



【各講義の理解度についての評価】

評価は4点満点の尺度を用いています。各評価項目の点数は以下のとおりです。  
十分に理解できた：4点 よく理解できた：3点 一部理解できた：2点 理解できなかった：1点

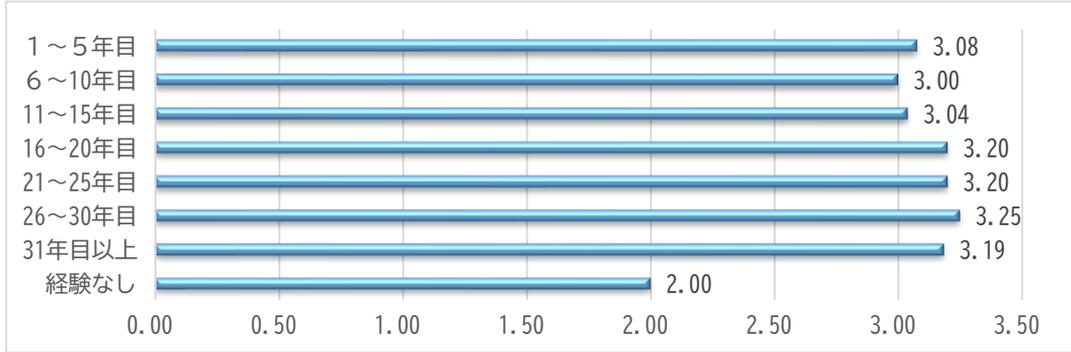
選択項目	十分に理解できた	よく理解できた	一部理解できた	理解できなかった	合計スコア	平均スコア	全体平均スコア
講義Ⅰ	232	315	62	1	610	3.13	3.06
講義Ⅱ	288	270	60	3	621	3.18	
講義Ⅲ	148	297	106	6	557	2.86	



【1-4×3-1 クロス集計 経験年数別にみた各講義の理解度についての評価】

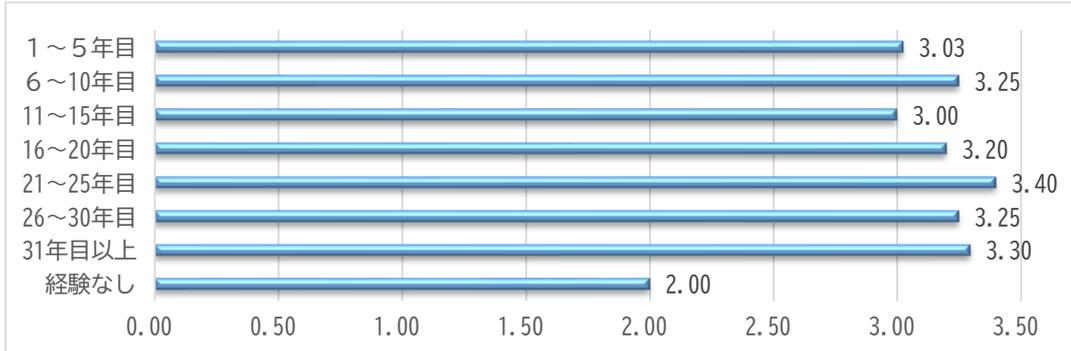
<講義Ⅰ>

選択項目	十分に理解できた	よく理解できた	一部理解できた	理解できなかった	合計スコア	平均スコア	全体平均スコア
1～5年目	48	54	18	0	120	3.08	3.13
6～10年目	28	18	14	0	60	3.00	
11～15年目	28	42	8	1	79	3.04	
16～20年目	28	30	6	0	64	3.20	
21～25年目	16	30	2	0	48	3.20	
26～30年目	24	39	2	0	65	3.25	
31年目以上	60	102	10	0	172	3.19	
経験なし	0	0	2	0	2	2.00	



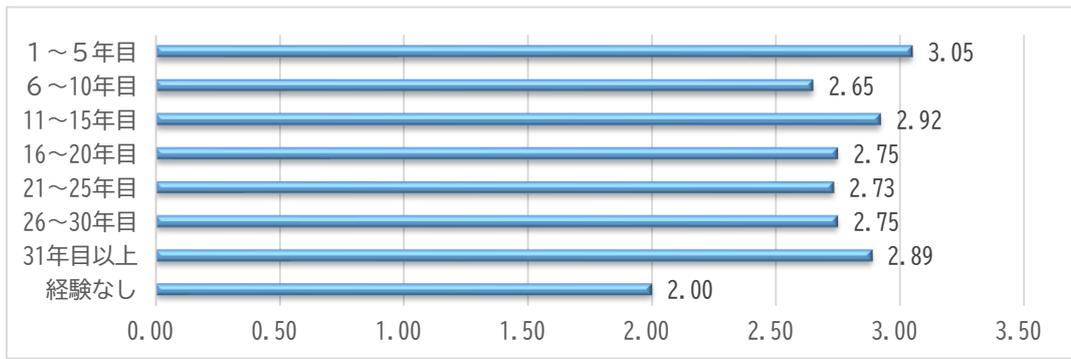
<講義Ⅱ>

選択項目	十分に理解できた	よく理解できた	一部理解できた	理解できなかった	合計スコア	平均スコア	全体平均スコア
1～5年目	52	45	20	1	118	3.03	3.18
6～10年目	40	15	10	0	65	3.25	
11～15年目	28	39	10	1	78	3.00	
16～20年目	36	21	6	1	64	3.20	
21～25年目	28	21	2	0	51	3.40	
26～30年目	28	33	4	0	65	3.25	
31年目以上	76	96	6	0	178	3.30	
経験なし	0	0	2	0	2	2.00	



<講義Ⅲ>

選択項目	十分に理解できた	よく理解できた	一部理解できた	理解できなかった	合計スコア	平均スコア	全体平均スコア
1～5年目	48	51	20	0	119	3.05	2.86
6～10年目	20	12	20	1	53	2.65	
11～15年目	28	39	6	3	76	2.92	
16～20年目	8	39	6	2	55	2.75	
21～25年目	8	21	12	0	41	2.73	
26～30年目	8	33	14	0	55	2.75	
31年目以上	28	102	26	0	156	2.89	
経験なし	0	0	2	0	2	2.00	



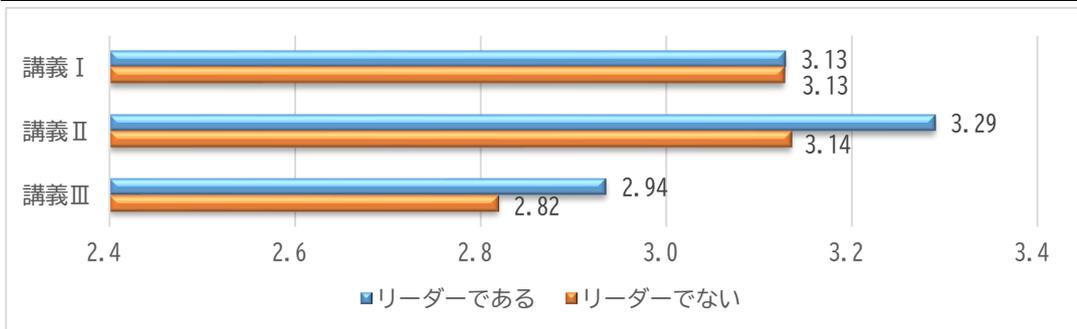
【1-5×3-1クロス集計 立場の違いからみた各講義の理解度についての評価】

<リーダーである>

選択項目	十分に理解できた	よく理解できた	一部理解できた	理解できなかった	合計スコア	平均スコア	全体平均スコア
講義Ⅰ	64	117	12	1	194	3.13	3.12
講義Ⅱ	104	90	8	2	204	3.29	
講義Ⅲ	40	117	24	1	182	2.94	

<リーダーでない>

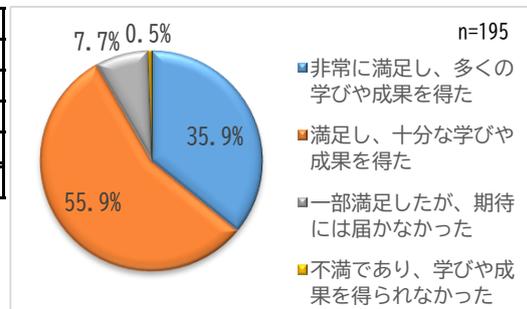
選択項目	十分に理解できた	よく理解できた	一部理解できた	理解できなかった	合計スコア	平均スコア	全体平均スコア
講義Ⅰ	168	198	50	0	416	3.13	3.03
講義Ⅱ	184	180	52	1	417	3.14	
講義Ⅲ	108	180	82	5	375	2.82	



問4 セミナー全体について

4-1 セミナーを通じて得られた学びや成果について、以下の4段階から最も適切な満足度を選択してください

学びや成果に対する満足度	回答数	構成比
非常に満足し、多くの学びや成果を得た	70	35.9%
満足し、十分な学びや成果を得た	109	55.9%
一部満足したが、期待には届かなかった	15	7.7%
不満であり、学びや成果を得られなかった	1	0.5%
計	195	100%



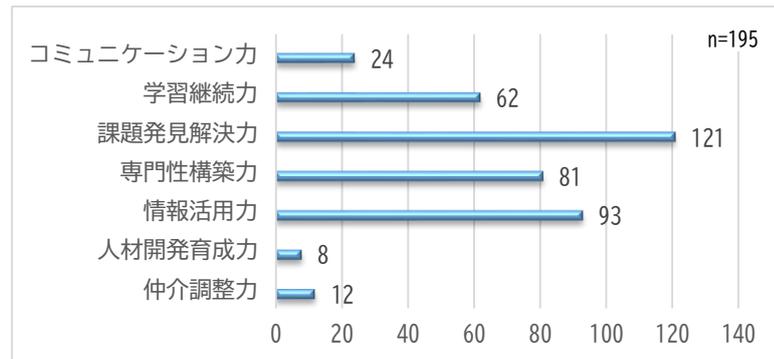
【セミナー満足度の合計と平均スコア】

評価は4点満点の尺度を用いています。各評価項目の点数は以下のとおりです。  
 非常に満足し、多くの学びを得た : 4点      満足し、十分な学びや成果を得た : 3点  
 一部満足したが、期待には届かなかった : 2点      不満であり、学びや成果を得られなかった : 1点

満足度	非常に満足	満足	一部満足	不満	合計スコア	平均スコア
	280	327	30	1	638	3.27

#### 4-2 セミナーに参加したことで、身についたと考えるものを教えてください（最大3つ選択可）

選択項目	回答数
コミュニケーション力	24
学習継続力	62
課題発見解決力	121
専門性構築力	81
情報活用力	93
人材開発育成力	8
仲介調整力	12



#### 4-3 御意見・御感想を自由に記入してください（一部抜粋）

- ・全国各地の実践事例を見て、文部科学省が今後進めていきたい施設設備、環境がバリアフリー化であったり、脱炭素化であることを知った。建物そのものを変えなければ実現しない内容も多いが、教育委員会や管理職、教職員一丸となって取り組むべき問題であると感じた。
- ・学校の課題を見つけ、外部からの情報を活用し、教育委員会と連携して課題解決にむけて取り組みをすすめる能力が必要になってくると思いますが、それぞれのキャリアステージにおいて、そのような研修がないので、全事研や各支部が音頭をとって研修を実施できたらいいと思う。
- ・学校や所属しているコミュニティだけでは情報を得られないものばかりで、視野を広げる良い機会となりました。
- ・全事研セミナーは全国の方々と交流もでき、最新の情報をつかむことができるので大変ありがたいです。
- ・半日で3コマ受講することができとても充実していた。設定されたテーマに沿った内容だったため、それぞれの講義から関連付ける項目が整理でき、実現へ向けての具体的な構想がイメージしやすく、とても参考になった。
- ・視点の持ち方を変えていく発想が本当に大切だと思った。自分自身も変えていきたいと感じた講義だった。
- ・オンデマンドでスケジュールに関係なく視聴できたのがよかった。

#### 問5 第58回佐賀大会（年次別課題：学びの機会の保障）の研究に関する設問

学校が子どもの学びの機会を保障するにあたり、次の（1）～（10）の職務は、事務職員が積極的にかかわることで成果を期待できるものだと思いますか。また、実際にこの職務にかかわっていますか  
 ※. あなたの「意識」と「実態」の組み合わせとして、当てはまるものを選択してください。また、「意識」について「そう思う」と回答した場合は、その根拠と考えるものを（a）～（j）の中から1つ選択してください。

※ 主担当や、副担当等、校務分掌の位置づけの有無は問いません。

##### 【選択肢1】

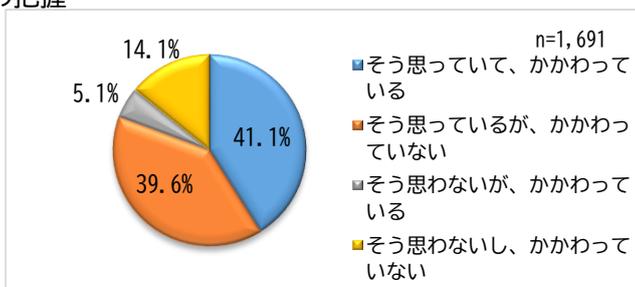
そう思っていて、かかっている・そう思っているが、かかっていない・  
 そう思わないが、かかっている・そう思わないし、かかっていない

##### 【選択肢2】

- |                               |                 |
|-------------------------------|-----------------|
| (a) 教育委員会、保護者・地域等と渉外・交渉・連携する力 | (f) 臨機応変な対応力    |
| (b) 学校全体を見渡し問題を発見・解決する思考力     | (g) ICTに関する知識   |
| (c) 情報分析・情報マネジメント等の能力         | (h) 教育課程に関する知識  |
| (d) 財務に関する能力                  | (i) 法規・制度に関する知識 |
| (e) 施設管理に関する能力                | (j) その他（記述）     |

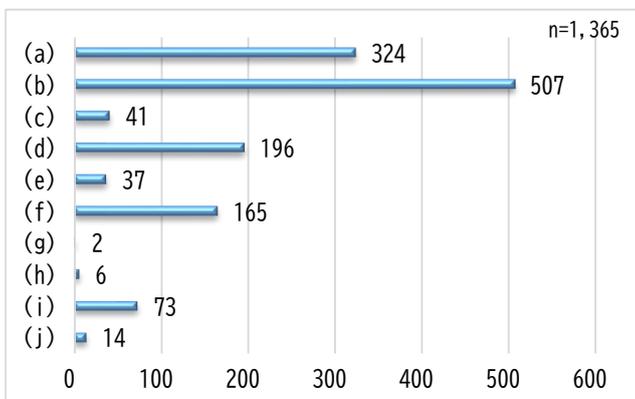
### 5-1 困難を抱える児童生徒に関する情報の把握

選択項目	回答数	構成比
そう思っていて、かかっている	695	41.1%
そう思っているが、かかっていない	670	39.6%
そう思わないが、かかっている	87	5.1%
そう思わないし、かかっていない	239	14.1%
計	1,691	100%



#### 「そう思う」と回答した根拠と考えるもの

選択項目	回答数	構成比
(a)	324	23.7%
(b)	507	37.1%
(c)	41	3.0%
(d)	196	14.4%
(e)	37	2.7%
(f)	165	12.1%
(g)	2	0.1%
(h)	6	0.4%
(i)	73	5.3%
(j)	14	1.0%
計	1,365	100%

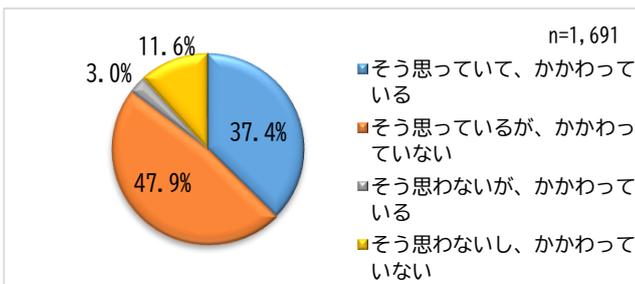


#### 【その他】（一部抜粋）

- ・ 就学援助等の支援
- ・ 危機管理

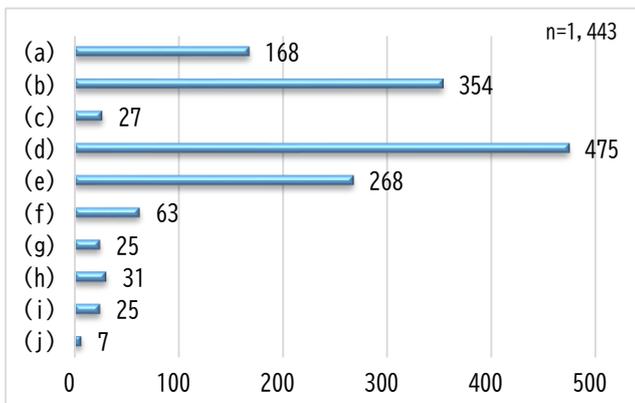
### 5-2 学習環境における合理的配慮の推進

選択項目	回答数	構成比
そう思っていて、かかっている	633	37.4%
そう思っているが、かかっていない	810	47.9%
そう思わないが、かかっている	51	3.0%
そう思わないし、かかっていない	197	11.6%
計	1,691	100%



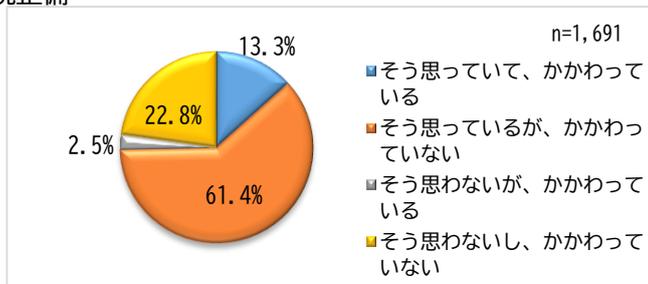
#### 「そう思う」と回答した根拠と考えるもの

選択項目	回答数	比率
(a)	168	11.6%
(b)	354	24.5%
(c)	27	1.9%
(d)	475	32.9%
(e)	268	18.6%
(f)	63	4.4%
(g)	25	1.7%
(h)	31	2.1%
(i)	25	1.7%
(j)	7	0.5%
計	1,443	100%



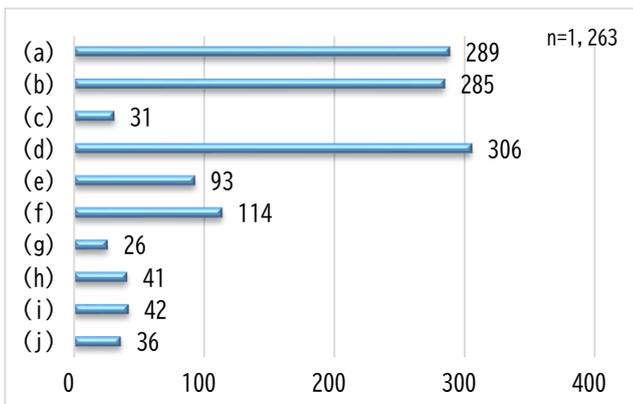
### 5-3 外国籍児童生徒を対象とした学習環境整備

選択項目	回答数	構成比
そう思っていて、かかっている	225	13.3%
そう思っているが、かかっていない	1,038	61.4%
そう思わないが、かかっている	42	2.5%
そう思わないし、かかっていない	386	22.8%
計	1,691	100%



#### 「そう思う」と回答した根拠と考えるもの

選択項目	回答数	構成比
(a)	289	22.9%
(b)	285	22.6%
(c)	31	2.5%
(d)	306	24.2%
(e)	93	7.4%
(f)	114	9.0%
(g)	26	2.1%
(h)	41	3.2%
(i)	42	3.3%
(j)	36	2.9%
計	1,263	100%

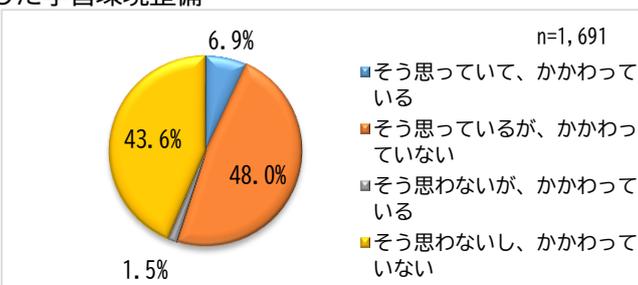


#### 【その他】（一部抜粋）

- ・ 就学援助費業務や児童生徒転出入事務を担当し、市教委の担当者から情報が入る立場のため

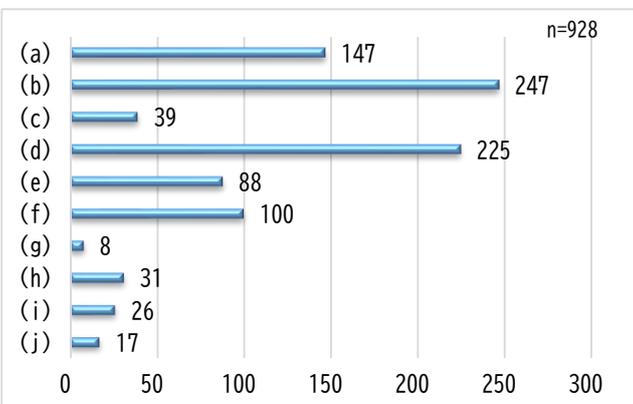
### 5-4 特異な才能をもつ児童生徒を対象とした学習環境整備

選択項目	回答数	構成比
そう思っていて、かかっている	117	6.9%
そう思っているが、かかっていない	811	48.0%
そう思わないが、かかっている	25	1.5%
そう思わないし、かかっていない	738	43.6%
計	1,691	100%



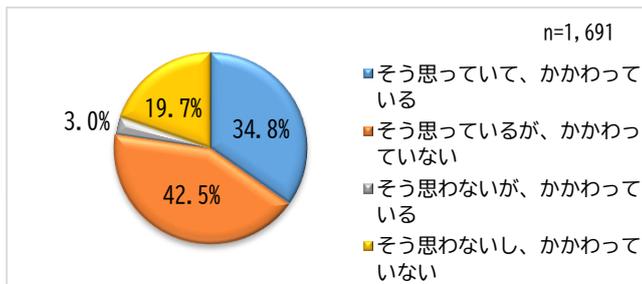
#### 「そう思う」と回答した根拠と考えるもの

選択項目	回答数	構成比
(a)	147	15.8%
(b)	247	26.6%
(c)	39	4.2%
(d)	225	24.2%
(e)	88	9.5%
(f)	100	10.8%
(g)	8	0.9%
(h)	31	3.3%
(i)	26	2.8%
(j)	17	1.8%
計	928	100%



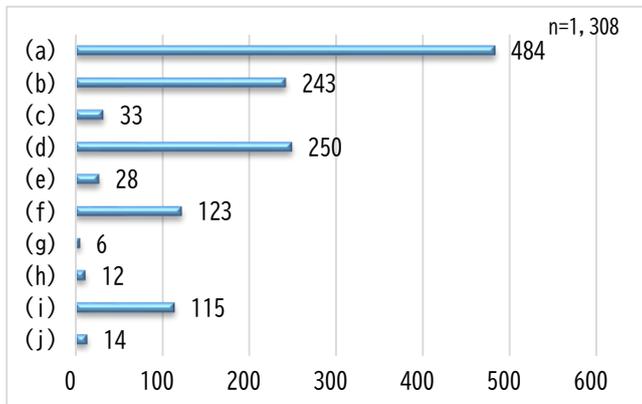
### 5-5 個別の支援が必要な家庭への支援

選択項目	回答数	構成比
そう思っていて、かかっている	589	34.8%
そう思っているが、かかっていない	719	42.5%
そう思わないが、かかっている	50	3.0%
そう思わないし、かかっていない	333	19.7%
計	1,691	100%



#### 「そう思う」と回答した根拠と考えるもの

選択項目	回答数	構成比
(a)	484	37.0%
(b)	243	18.6%
(c)	33	2.5%
(d)	250	19.1%
(e)	28	2.1%
(f)	123	9.4%
(g)	6	0.5%
(h)	12	0.9%
(i)	115	8.8%
(j)	14	1.1%
計	1,308	100%

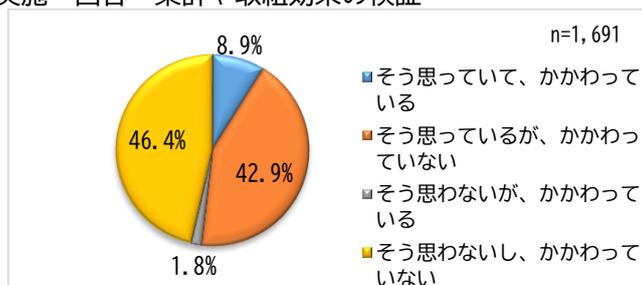


【その他】（一部抜粋）

- ・就学援助制度に関する知識

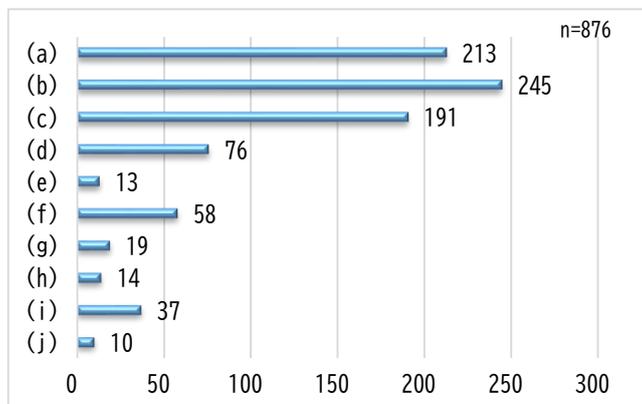
### 5-6 困難を抱える児童生徒に係る調査の実施・回答・集計や取組効果の検証

選択項目	回答数	構成比
そう思っていて、かかっている	150	8.9%
そう思っているが、かかっていない	726	42.9%
そう思わないが、かかっている	30	1.8%
そう思わないし、かかっていない	785	46.4%
計	1,691	100%



#### 「そう思う」と回答した根拠と考えるもの

選択項目	回答数	構成比
(a)	213	24.3%
(b)	245	28.0%
(c)	191	21.8%
(d)	76	8.7%
(e)	13	1.5%
(f)	58	6.6%
(g)	19	2.2%
(h)	14	1.6%
(i)	37	4.2%
(j)	10	1.1%
計	876	100%

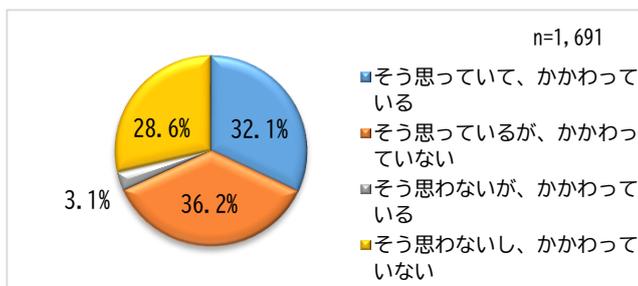


【その他】（一部抜粋）

- ・就学援助にかかっているため

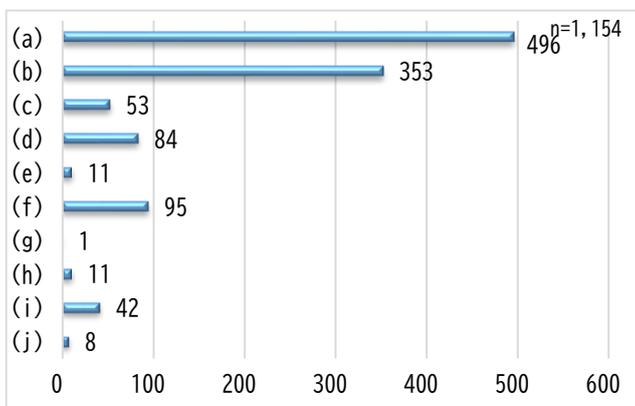
### 5-7 学校内外の専門機関等との連携

選択項目	回答数	構成比
そう思っていて、かかっている	542	32.1%
そう思っているが、かかっていない	612	36.2%
そう思わないが、かかっている	53	3.1%
そう思わないし、かかっていない	484	28.6%
計	1,691	100%



#### 「そう思う」と回答した根拠と考えるもの

選択項目	回答数	構成比
(a)	496	43.0%
(b)	353	30.6%
(c)	53	4.6%
(d)	84	7.3%
(e)	11	1.0%
(f)	95	8.2%
(g)	1	0.1%
(h)	11	1.0%
(i)	42	3.6%
(j)	8	0.7%
計	1,154	100%



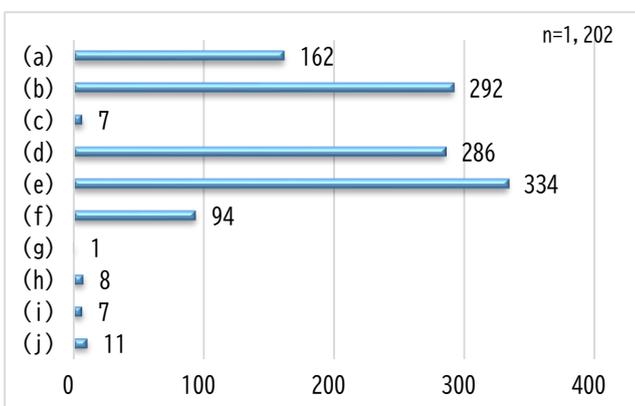
### 5-8 校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム等）の設置・環境整備

選択項目	回答数	構成比
そう思っていて、かかっている	356	21.1%
そう思っているが、かかっていない	846	50.0%
そう思わないが、かかっている	51	3.0%
そう思わないし、かかっていない	438	25.9%
計	1,691	100%



#### 「そう思う」と回答した根拠と考えるもの

選択項目	回答数	構成比
(a)	162	13.5%
(b)	292	24.3%
(c)	7	0.6%
(d)	286	23.8%
(e)	334	27.8%
(f)	94	7.8%
(g)	1	0.1%
(h)	8	0.7%
(i)	7	0.6%
(j)	11	0.9%
計	1,202	100%

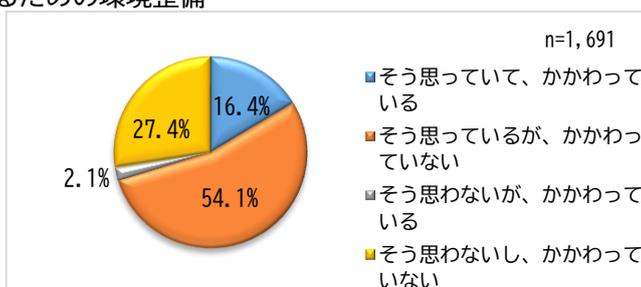


#### 【その他】（一部抜粋）

- ・ 教員や支援員が不足しているためその代替職員として
- ・ 教育相談担当や管理職が行っている

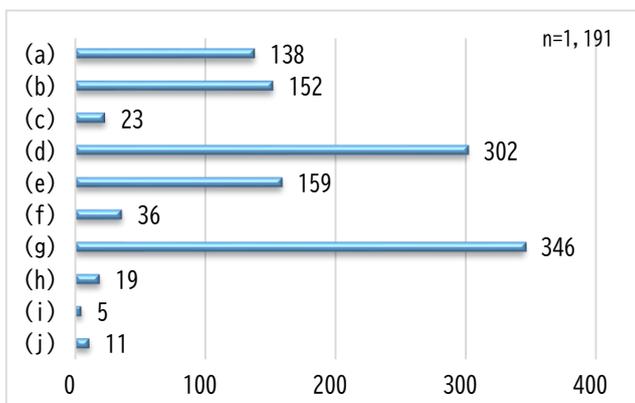
### 5-9 遠隔授業等、教室以外での学習をするための環境整備

選択項目	回答数	構成比
そう思っていて、かかっている	277	16.4%
そう思っているが、かかっていない	914	54.1%
そう思わないが、かかっている	36	2.1%
そう思わないし、かかっていない	464	27.4%
計	1,691	100%



#### 「そう思う」と回答した根拠と考えるもの

選択項目	回答数	構成比
(a)	138	11.6%
(b)	152	12.8%
(c)	23	1.9%
(d)	302	25.4%
(e)	159	13.4%
(f)	36	3.0%
(g)	346	29.1%
(h)	19	1.6%
(i)	5	0.4%
(j)	11	0.9%
計	1,191	100%



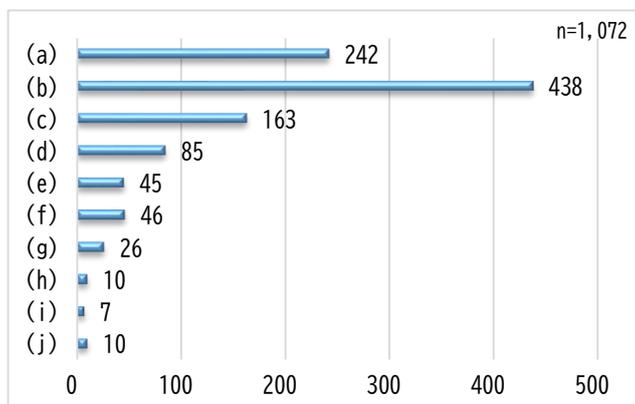
### 5-10 学校風土（学校の安全性、学校生活意欲等）の「見える化」の推進

選択項目	回答数	構成比
そう思っていて、かかっている	294	17.4%
そう思っているが、かかっていない	778	46.0%
そう思わないが、かかっている	25	1.5%
そう思わないし、かかっていない	594	35.1%
計	1,691	100%



#### 「そう思う」と回答した根拠と考えるもの

選択項目	回答数	構成比
(a)	242	22.6%
(b)	438	40.9%
(c)	163	15.2%
(d)	85	7.9%
(e)	45	4.2%
(f)	46	4.3%
(g)	26	2.4%
(h)	10	0.9%
(i)	7	0.7%
(j)	10	0.9%
計	1,072	100%

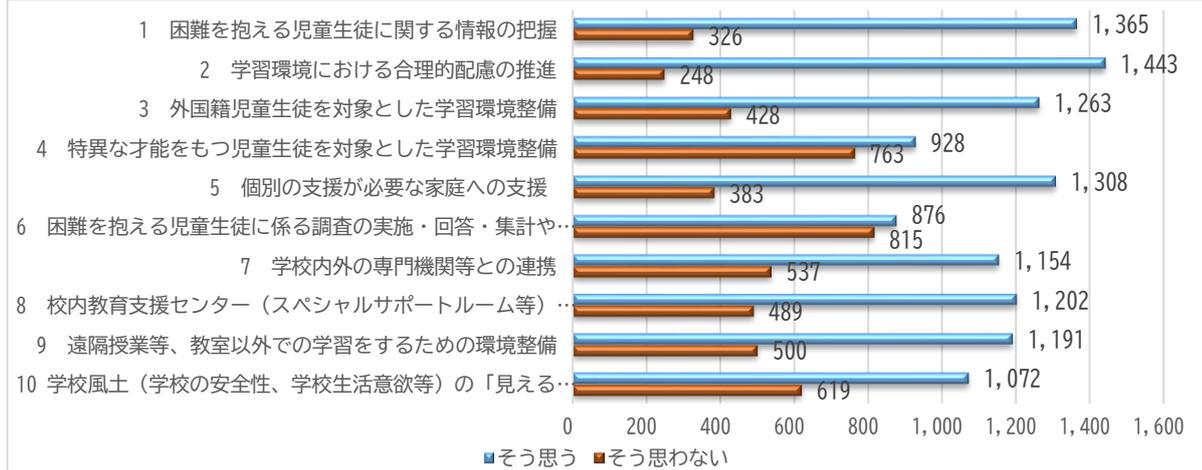


【その他】（一部抜粋）  
・HP等による広報能力

【5-1～5-10 回答数の合計】

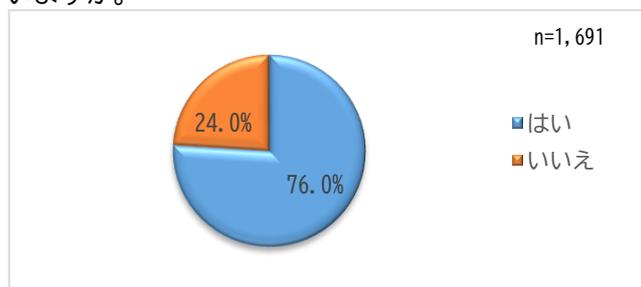
選択肢のうち、「そう思っていて、かかっている」「そう思っているが、かかっていない」を「そう思う（肯定群）」に、「そう思わないが、かかっている」「そう思わないし、かかっていない」を「そう思わない（否定群）」に分類し、設問ごとにそれぞれの総数を集計した。

設 問	そう思う	そう思わない
1 困難を抱える児童生徒に関する情報の把握	1,365	326
2 学習環境における合理的配慮の推進	1,443	248
3 外国籍児童生徒を対象とした学習環境整備	1,263	428
4 特異な才能をもつ児童生徒を対象とした学習環境整備	928	763
5 個別の支援が必要な家庭への支援	1,308	383
6 困難を抱える児童生徒に係る調査の実施・回答・集計や取組効果の検証	876	815
7 学校内外の専門機関等との連携	1,154	537
8 校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム等）の設置・環境整備	1,202	489
9 遠隔授業等、教室以外での学習をするための環境整備	1,191	500
10 学校風土（学校の安全性、学校生活意欲等）の「見える化」の推進	1,072	619



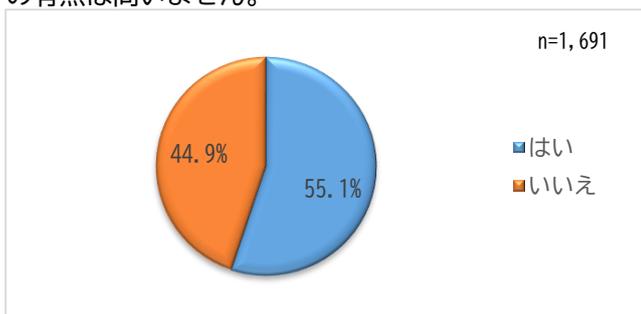
5-11 あなたの学校が所属する市区町村教育委員会では、学校管理規則や規程、要綱等により、事務職員の標準的な職務が定められていますか。

選択項目	回答数	構成比
はい	1,285	76.0%
いいえ	406	24.0%
計	1,691	100%



5-12 あなたは、児童生徒の学籍に係る事務（転出入、児童生徒名簿管理、要録点検等）にかかわっていますか。校務分掌の位置づけの有無は問いません。

選択項目	回答数	構成比
はい	932	55.1%
いいえ	759	44.9%
計	1,691	100%



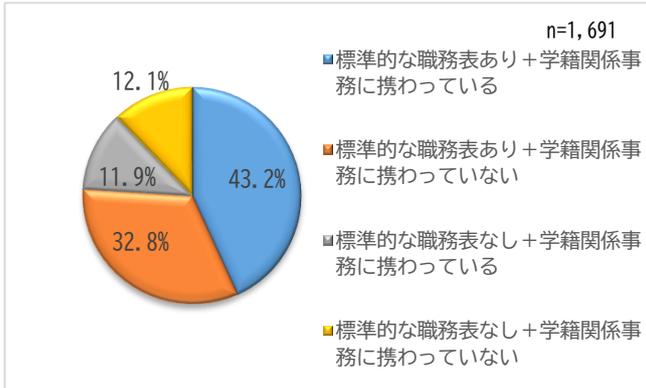
【5-11×5-12クロス集計 標準的な職務の有無と学籍に係る事務の割合】

<回答数別>

標準的な職務/ 学籍関係事務	携わっている	携わっていない	計
あり	731	554	1,285
なし	201	205	406
計	932	759	1,691

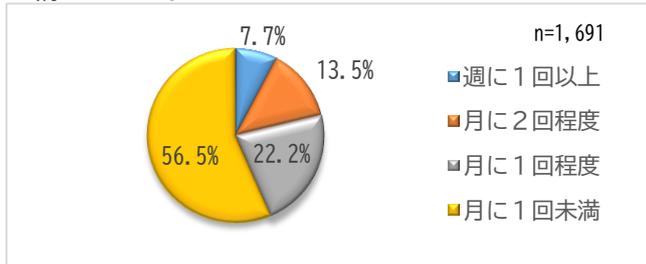
<構成比別>

標準的な職務/ 学籍関係事務	携わっている	携わっていない	計
あり	43.2%	32.8%	76.0%
なし	11.9%	12.1%	24.0%
計	55.1%	44.9%	100%



5-13 あなたが、市区町村教育委員会の職員と、所属校や共同学校事務室、勤務する自治体の事務改善や課題解決について会話をする頻度として、当てはまるものを1つ選択してください。会話の形については、対面でも電話でも構いません。

選択項目	回答数	構成比
週に1回以上	130	7.7%
月に2回程度	229	13.5%
月に1回程度	376	22.2%
月に1回未満	956	56.5%
計	1,691	100%



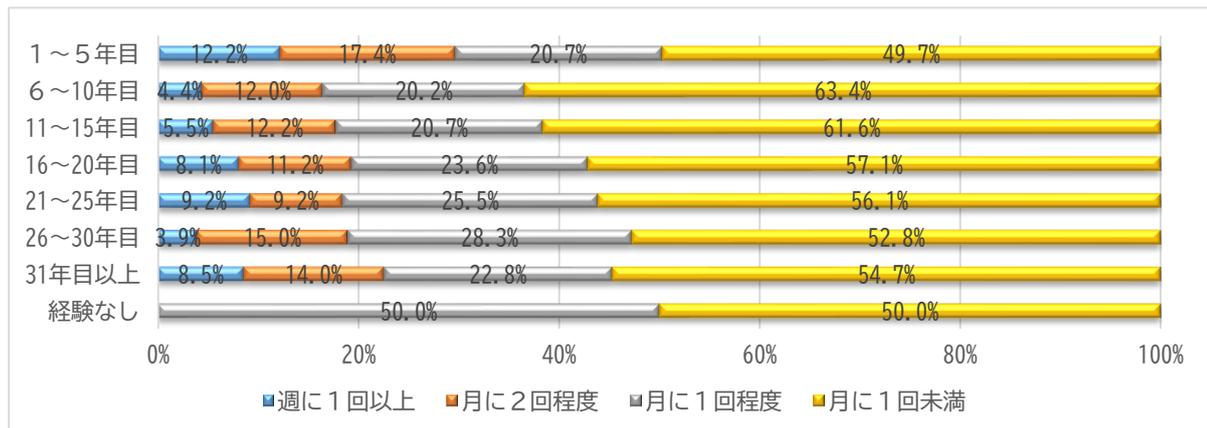
【1-4×5-13クロス集計 経験年数別にみた教育委員会との会話頻度】

<回答数別>

選択項目	1～5年目	6～10年目	11～15年目	16～20年目	21～25年目	26～30年目	31年目以上	経験なし
週に1回以上	44	14	15	13	9	5	30	0
月に2回程度	63	38	33	18	9	19	49	0
月に1回程度	75	64	56	38	25	36	80	2
月に1回未満	180	201	167	92	55	67	192	2
計	362	317	271	161	98	127	351	4

<構成比別>

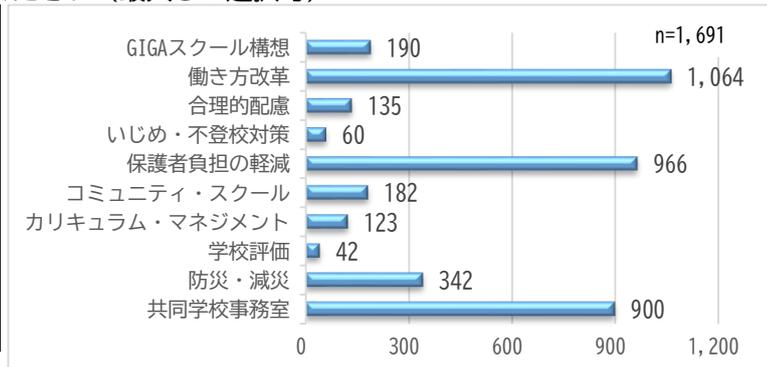
選択項目	1～5年目	6～10年目	11～15年目	16～20年目	21～25年目	26～30年目	31年目以上	経験なし
週に1回以上	12.2%	4.4%	5.5%	8.1%	9.2%	3.9%	8.5%	0%
月に2回程度	17.4%	12.0%	12.2%	11.2%	9.2%	15.0%	14.0%	0%
月に1回程度	20.7%	20.2%	20.7%	23.6%	25.5%	28.3%	22.8%	50.0%
月に1回未満	49.7%	63.4%	61.6%	57.1%	56.1%	52.8%	54.7%	50.0%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



## 問6 全事研の活動について

6-1 現在、すでに取り組んでいる、または今後取り組みたい（かかわっていきたい）と考えている関心事について選択してください（最大3つ選択可）

選択項目	回答数
GIGAスクール構想	190
働き方改革	1,064
合理的配慮	135
いじめ・不登校対策	60
保護者負担の軽減	966
コミュニティ・スクール	182
カリキュラム・マネジメント	123
学校評価	42
防災・減災	342
共同学校事務室	900



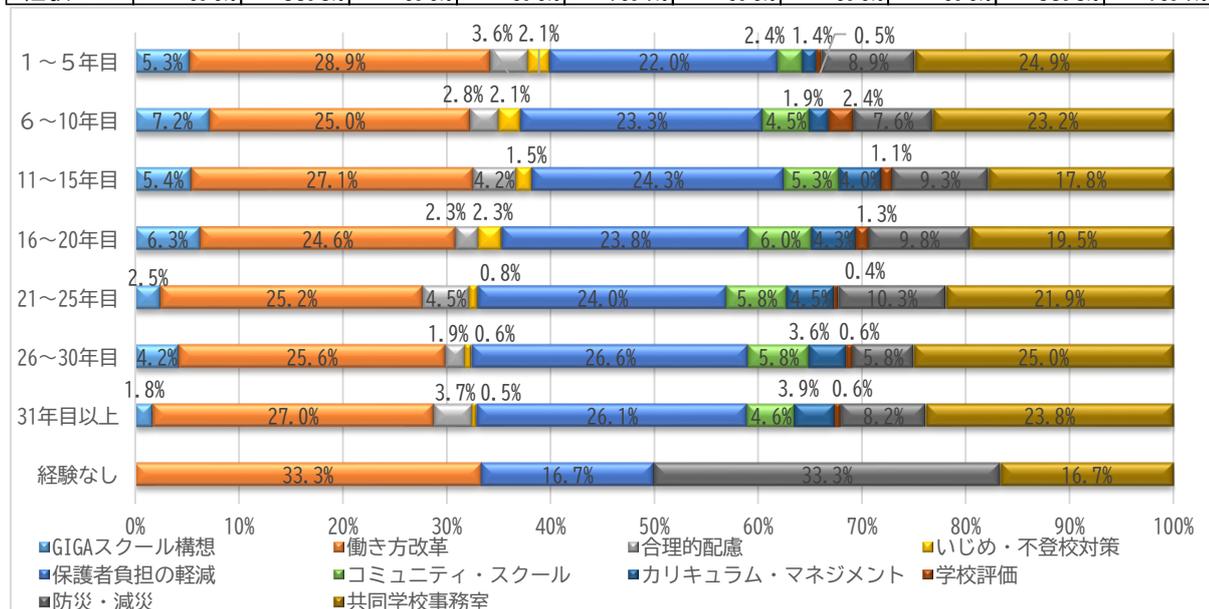
### 【1-4×6-1クロス集計 経験年数別にみた関心事】

<回答数別>

選択項目	GIGAスクール構想	働き方改革	合理的配慮	いじめ・不登校対策	保護者負担の軽減	コミュニティ・スクール	カリキュラム・マネジメント	学校評価	防災・減災	共同学校事務室
1～5年目	42	230	29	17	175	19	11	4	71	198
6～10年目	54	188	21	16	175	34	14	18	57	174
11～15年目	35	175	27	10	157	34	26	7	60	115
16～20年目	25	98	9	9	95	24	17	5	39	78
21～25年目	6	61	11	2	58	14	11	1	25	53
26～30年目	13	79	6	2	82	18	11	2	18	77
31年目以上	15	231	32	4	223	39	33	5	70	204
経験なし	0	2	0	0	1	0	0	0	2	1

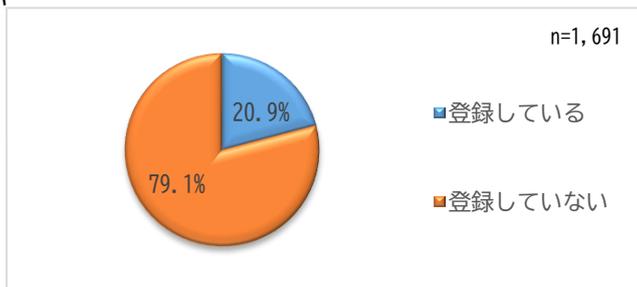
<構成比別>

選択項目	GIGAスクール構想	働き方改革	合理的配慮	いじめ・不登校対策	保護者負担の軽減	コミュニティ・スクール	カリキュラム・マネジメント	学校評価	防災・減災	共同学校事務室
1～5年目	5.3%	28.9%	3.6%	2.1%	22.0%	2.4%	1.4%	0.5%	8.9%	24.9%
6～10年目	7.2%	25.0%	2.8%	2.1%	23.3%	4.5%	1.9%	2.4%	7.6%	23.2%
11～15年目	5.4%	27.1%	4.2%	1.5%	24.3%	5.3%	4.0%	1.1%	9.3%	17.8%
16～20年目	6.3%	24.6%	2.3%	2.3%	23.8%	6.0%	4.3%	1.3%	9.8%	19.5%
21～25年目	2.5%	25.2%	4.5%	0.8%	24.0%	5.8%	4.5%	0.4%	10.3%	21.9%
26～30年目	4.2%	25.6%	1.9%	0.6%	26.6%	5.8%	3.6%	0.6%	5.8%	25.0%
31年目以上	1.8%	27.0%	3.7%	0.5%	26.1%	4.6%	3.9%	0.6%	8.2%	23.8%
経験なし	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%



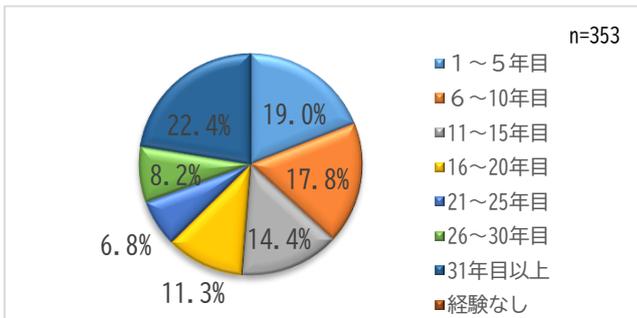
### 6-2 LINEへの登録状況をお知らせください

選択項目	回答数	構成比
登録している	353	20.9%
登録していない	1,338	79.1%
計	1,691	100%



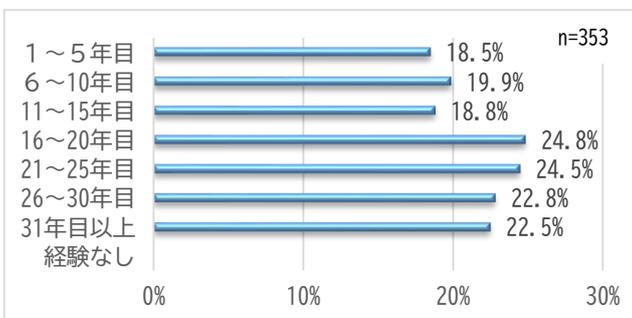
#### 【1-4×6-2クロス集計 経験年数別にみたLINE登録者の割合】

選択項目	登録している	構成比
1～5年目	67	19.0%
6～10年目	63	17.8%
11～15年目	51	14.4%
16～20年目	40	11.3%
21～25年目	24	6.8%
26～30年目	29	8.2%
31年目以上	79	22.4%
経験なし	0	0%
計	353	100%



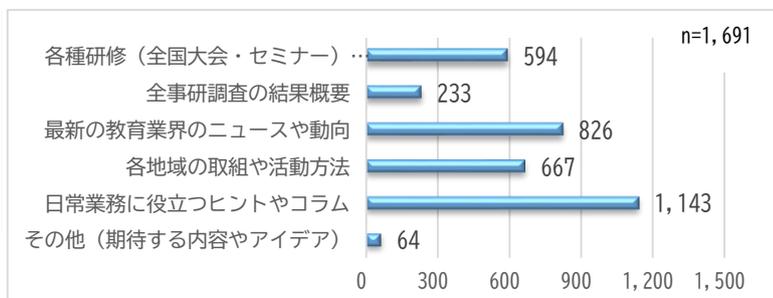
#### 【1-4×6-2クロス集計 経験年数別にみたLINE登録率（全回答者ベース）】

選択項目	回答数	登録している	回答数/登録している
1～5年目	362	67	18.5%
6～10年目	317	63	19.9%
11～15年目	271	51	18.8%
16～20年目	161	40	24.8%
21～25年目	98	24	24.5%
26～30年目	127	29	22.8%
31年目以上	351	79	22.5%
経験なし	4	0	0%
計	1,691	353	



### 6-3 全事研のLINE (@zenjiken) やその他の情報発信で、どのような内容が提供してほしいですか（最大3つ選択可）

選択項目	回答数
各種研修（全国大会・セミナー）の案内	594
全事研調査の結果概要	233
最新の教育業界のニュースや動向	826
各地域の取組や活動方法	667
日常業務に役立つヒントやコラム	1,143
その他（期待する内容やアイデア）	64



#### 【その他】（一部抜粋）

- ・文科省への訪問や連絡、議員訪問などへの働きかけの動きの報告
- ・通常業務では得られない知識や講義等の研修情報
- ・法令規則を学べる自己啓発情報

【LINE情報発信の内容ニーズと経験年数の関連】

<回答数別>

選択項目	各種研修の案内	全事研調査の結果概要	教育業界のニュースや動向	各地域の取組や活動方法	日常業務に役立つヒント	その他
1～5年目	99	38	151	141	270	8
6～10年目	99	44	138	130	220	13
11～15年目	78	40	136	108	177	15
16～20年目	63	21	90	66	100	5
21～25年目	37	12	52	44	57	4
26～30年目	51	15	68	53	83	7
31年目以上	167	63	187	124	234	12
経験なし	0	0	4	1	2	0
計	594	233	826	667	1143	64

<構成比別>

選択項目	各種研修の案内	全事研調査の結果概要	教育業界のニュースや動向	各地域の取組や活動方法	日常業務に役立つヒント	その他
1～5年目	14.0%	5.4%	21.4%	19.9%	38.2%	1.1%
6～10年目	15.4%	6.8%	21.4%	20.2%	34.2%	2.0%
11～15年目	14.1%	7.2%	24.5%	19.5%	31.9%	2.7%
16～20年目	18.3%	6.1%	26.1%	19.1%	29.0%	1.4%
21～25年目	18.0%	5.8%	25.2%	21.4%	27.7%	1.9%
26～30年目	18.4%	5.4%	24.5%	19.1%	30.0%	2.5%
31年目以上	21.2%	8.0%	23.8%	15.8%	29.7%	1.5%
経験なし	0%	0%	57.1%	14.3%	28.6%	0%

